

電話網移行円滑化委員会ご説明資料

2016. 4. 19

会社概要

1. 業務区域 東北6県+新潟県
2. 設立 平成4年10月27日
3. 資本金 100億円
4. 株主 東北電力株式会社（100%）
5. 事業内容 事業所間ネットワーク、固定IP電話、インターネット接続、データセンター等
6. 事業規模
 - ①売上 255億円（平成26年度）
 - ②光ファイバ亘長 約44,000km（平成28年2月末）
 - ③回線数 約23,000（平成28年2月末）
7. 主要顧客 自治体、警察、消防、大学、法人（金融、放送、小売等）
個人向けサービスは実施していない
8. 固定IP電話
 - ①種別 OAB～J-IP電話（平成16年12月サービス開始）
O50-IP電話（平成16年1月サービス開始）
 - ②電話番号数 約2万（平成28年2月末）参考：2億3800万（全国）
約3万（平成32年度目標）
 - ③特長 光ファイバで提供
マイライン機能、中継選択機能は提供していない
東日本で固定IP電話サービスを実施しているのは地域系事業者では当社のみ

基本的考え方

1. ハブ機能の位置付け

- ①携帯電話の普及及び人口減少により、固定電話(光IP電話を含む)は減少傾向
- ②固定電話は必須の電気通信役務(シビルミニマム)
- ③PSTNの設備は2025年頃に維持限界
- ④以上の認識の下、これまでPSTNが担ってきたハブ機能を各電気通信事業者が協力し、コストミニマムで維持できるように整備していくことが責務
- ⑤新たに整備されるハブ機能により、公正競争の基盤を維持

2. コストミニマムと公正競争の基盤維持

- ①固定電話を繋ぐハブ機能は必須であり、PSTNマイグレーションの中では最優先の課題
- ②公正競争の基盤を担うハブ機能はすべての電気通信事業者が共用
- ③ハブ機能のコストは利用者規模に応じた負担とし、かつ、地域性で格差が生じないこと
- ④POIは公正競争維持と信頼性確保の観点から、地方ブロック毎に2か所設置
- ⑤IPの特性活用及び2者間接続により事業者間精算の簡便化を行い、運用コスト削減を期待

3. コスト評価とスケジュールの決定

- ①「PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場合」では技術的検討が中心でコスト負担が未検討
- ②固定電話事業継続にあたって、PSTNマイグレーションに伴う、現状と比較したコスト負担評価が必須
- ③ただし、個社でのコスト負担評価は困難
- ④関係する全ての電気通信事業者が必要なデータを提供し、PSTNマイグレーション前後の全体及び個社毎のコスト試算を実施し、その結果を踏まえ本委員会でハブ機能等のあるべき姿を決定
- ⑤2025年までに余裕を持ってPSTNマイグレーションができるよう、本委員会で2025年までのスケジュールを決定

ハブ機能(全事業者が利用)

1. 主要事業者間で直接接続するとハブ機能の維持に課題(図1)

- ①主要事業者の通話について、ハブ機能を利用せず直接接続するとハブ機能利用が激減
- ②ハブ機能の利用単価(コスト/規模(トラフィック、電話番号数))が高上がり

2. ハブ機能の利用については次のとおりとすべき(図2)

- ①PSTNと同様のスケールメリットを追求
- ②全ての事業者が一つ(冗長構成で複数地点を含む)のハブ機能を利用し、公正競争の基盤を維持
- ③全ての事業者間でハブ機能を介さない直接接続は認めない

3. 検討中の6案すべてに対し、POIの数及び場所も含めコスト比較を実施し、運用の担い手を含めた評価が必要

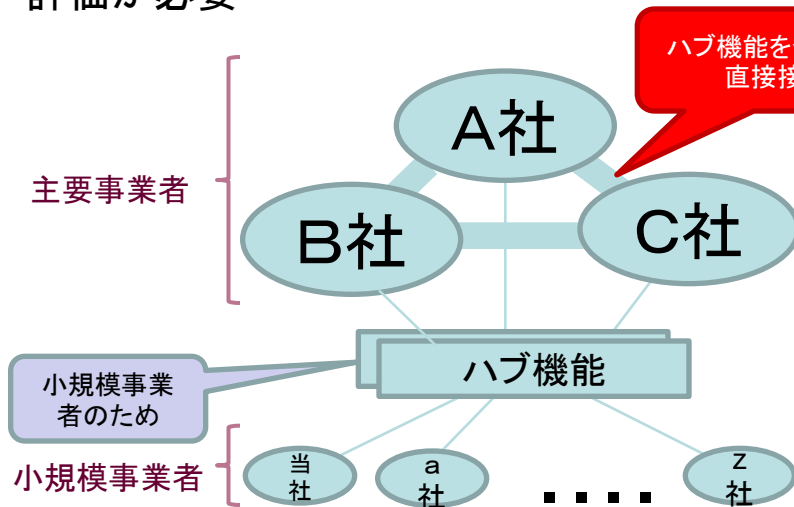


図1 ハブ機能の維持に課題が生じる主要事業者間の直接接続

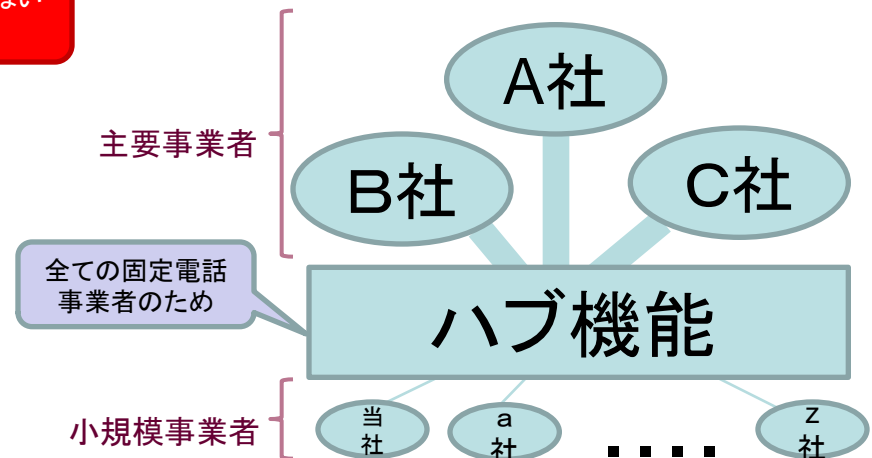


図2 全事業者がハブ機能を利用

POI(地方ブロック毎に2か所設置)

1. POIの設置密度(全国2か所、地方ブロック毎、都道府県毎)は経済性と信頼性のバランス
2. 最も経済性が良い全国2か所(例、東京、大阪)とした場合の課題(図1)

①費用負担の格差

- 地域系事業者は自社のサービスエリアにPOIがない
- 地域系事業者はPOIまでの通信回線を外部から調達
- 全国事業者はPOIまで自らのネットワークを利用

②信頼性の低下

- POIまでの接続が長距離化
- 障害発生時に遠距離駆けつけの移動時間がかかること及び保守も含めた体制整備が必要
- 現状は、通話の約9割が東北域内
- そのうち約8割はNTT東日本殿
- これら全てが東京又は大阪経由に移行
- 例えば、仙台市内の当社加入者様とNTT東日本加入者様との通話が東京又は大阪経由

3. 2つの課題解決のためPOIは地方ブロック毎に2か所設置(図2)

(参考)・PSTNのPOIは8か所

(青森、盛岡、秋田、山形、仙台(2か所)、福島、新潟)

